

## 《大腸癌手術に対する COVID-19 の影響に関する後方視的解析》

- (1) 対象:2018年4月1日から2021年3月31日までに、当院および参加施設において大腸癌に対して切除術を施行した症例
- (2) 研究実施予定期間:倫理審査承認後から2025年3月31日まで
- (3) 研究組織代表者:大阪大学消化器外科共同研究会 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 土岐 祐一郎、江口英利
- (4) 研究代表者:国立病院機構 大阪医療センター 外科 三代雅明
- (5) 研究責任者:大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 講師 植村守
- (6) 目的:COVID-19が大腸癌手術患者の背景に及ぼす影響を検討することを目的としています。
- (7) 方法:患者基本情報(性別、生年月日等)、原発巣総合情報、原発巣病理情報、施設基本情報などを収集し、COVID-19感染拡大前後での患者背景の変化を検討します。
- (8) 意義:手術を必要とする患者に適切な外科医療を提供するために、COVID-19パンデミックの影響を理解することは今後の大腸癌治療を行う一助になると考えられ、社会的意義は大きいと考えられます。
- (9) 個人情報の取り扱い  
研究対象者のプライバシーは厳重に守られ、また、その他人権に関わる事項についても十分な配慮がなされます。本研究の登録の際には氏名やカルテ番号等の個人情報の匿名化を行うため、研究対象者の名前や個人情報が特定・公開されることはありません。収集した臨床情報に関しては、個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な複写などがないように研究を実施します。
- (10) データの提供  
データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
- (11) 参加施設  
参加施設は、大阪大学消化器外科共同研究会に参加している以下の施設とする。  
大阪大学医学部附属病院、JCHO 大阪病院、JCHO 星ヶ丘医療センター、第二大阪警察病院、医誠会病院、大阪警察病院、大阪中央病院、JCHO 大阪みなと中央病院、大阪労災病院、大手前病院、加納総合病院、川崎病院、河内総合病院、関西ろうさい病院、紀南病院、近畿大学医学部奈良病院、近畿中央病院、国立病院機構大阪医療センター、済生会千里病院、彩都友誼会病院、四天王寺病院、市立芦屋病院、市立池田病院、市立伊丹病院、市立貝塚病院、市立川西病院、堺市立総合医療センター、市立吹田市民病院、市立豊中病院、清恵会病院、田仲北野田病院、多根総合病院、豊中緑ヶ丘病院、済生会富田林病院、西宮市立中央病院、日本生命病院、阪南中央病院、阪和住吉総合病院、市立東大阪医療センター、東宝塚さとう病院、兵庫県立西宮病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、ベルランド総合病院、箕面市立病院、守口敬仁会病院、八尾市立病院、りんくう総合医療センター、大阪はびきの医療センター(各施設の研究責任者は別紙参照)  
なお、上記以外の施設においても、各施設内の倫理審査委員会での承認を経て参加可能とする。

(12) 問い合わせ先: 研究事務局

大阪大学消化器外科共同研究会 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 講師 植村 守

TEL: 06-6879-3251 受付時間: 9:00~17:00(祝祭土日・年末年始は除く)

(13) 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法

本研究への情報提供を拒否される方は遠慮なく上記問い合わせ先まで申し出て下さい。